

きいて・めもして・こたえよう

きしょう よほう し はなし
気象予報士の話

なまえ
名前

きょうめあて 天気予報の「しくみ（作り方）」と、予報が「防災に役立つわけ」
を、分けてメモしましょう。

ことば ぼうさい すうじ
おとさない言葉：しくみ・防災・数字

ほうそう
放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 天気予報は、何を集めて作ると言っていましたか。

(2) 集めたデータは、何を使って計算しますか。

(3) 青山さんが、とくに予想がむずかしいと言っていたのは何ですか。○をつけましょう。

ア 朝の気温

イ 急なかなりや大雨

ウ 風の向き

(4) 次のうち、青山さんの「考え」が書かれているのはどれですか。○をつけましょう。

ア 気温やしつ度を、せかい中のかんそく所から集める

イ 天気予報は、防災の大切なじょうほうだ

ウ 大量のデータを、コンピューターで計算する

(5) 天気予報について、青山さんに聞いてみたいことを「しつものの文」で一つ書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、テレビで、お天気を、つたえている、気象予報士の、青山さんに、お話を、聞きます。青山さんは、毎日、次の日の、天気を、予想して、わたしたちに、教えてくれます。天気予報の、しくみと、その、大切さを、話していただきます。

「天気予報は、たくさんの、じょうほうを、集めて、作ります」と、青山さんは、言います。「気温や、しつ度、風の、向きや、強さを、日本中、いえ、せかい中の、かんそく所から、集めます。そして、その、大量のデータを、コンピューターで、計算して、予想を、立てるのです。」

「しかし、天気は、生きもののように、変わります」と、青山さんは、話します。「だから、予報が、百パーセント、当たるとは、かぎりません。とくに、急な、かみなりや、大雨は、予想が、むずかしいのです。それでも、少しでも、正かくな、予報を、とどけようと、日々、けんきゅうを、続けています。」

青山さんに、天気予報が、なぜ、大切なのかを、聞きました。「天気を、前もって、知ることは、命を、守ることに、つながります。台風や、大雪の、予報を、聞いて、そなえれば、ひがいを、へらせます。天気予報は、防災の、大切な、じょうほうなのです。」

青山さんの話から、毎日の、天気予報が、多くの、人の、努力で、作られ、わたしたちの、くらしと、命を、守っていることが、分かりました。

メモのれい

気象予報士・青山さんの話（予報のしくみと防災）

しくみ：気温・しつ度・風などをせかい中のかんそく所から集める→コンピューターで計算→予想

むずかしさ：天気は変わる→100%当たらない（急なかみなり・大雨は予想がむずかしい）

防災：前もって知れば命を守れる（台風・大雪にそなえる）→天気予報は防災の大切なじょうほう

こたえと かいせつ

（1）たくさんのじょうほう（気温・しつ度・風の向きや強さ）

「気温や、しつ度、風の、向きや、強さを…かんそく所から、集めます」と言っていました。

（2）コンピューター

「大量のデータを、コンピューターで、計算して、予想を、立てる」と言っていました。

（3）イ（急なかみなりや大雨）

「とくに、急な、かみなりや、大雨は、予想が、むずかしい」と言っていました。

（4）イ（天気予報は、防災の大切なじょうほうだ）

アとウは予報を作る手順（事実）です。イは青山さんの「考え」です。

（5）（例）よく当たるのは、どんなときですか。／予報士になるには、どうすればよいですか。

天気予報に関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。